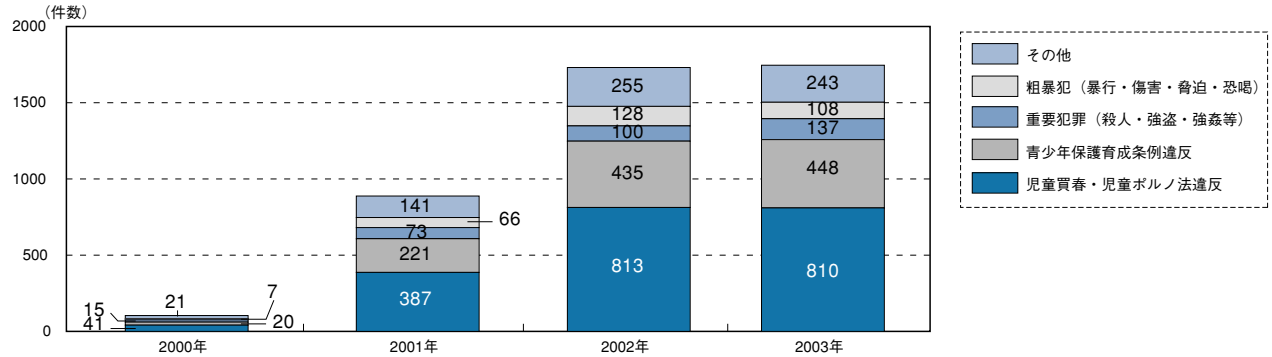


出会い系サイト

強盗、強姦など重要犯罪が顕著に増加。被害者の85%が18歳未満

資料7-3-12A 出会い系サイト関連事件の検挙件数の推移



資料7-3-12B 検挙された出会い系サイト関連事件の内訳

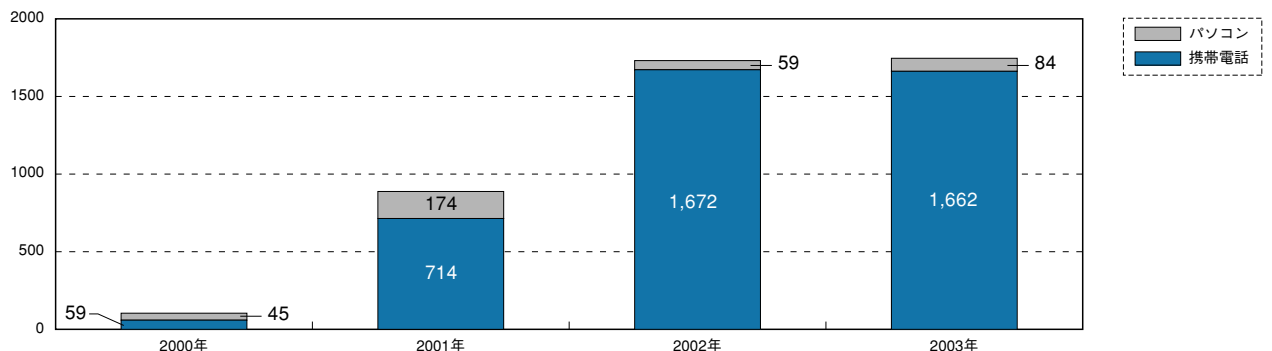
罪名	2000年	2001年	2002年	2003年	
児童買春・児童ポルノ法違反	児童買春	40	379	787	791
	児童ポルノ	1	8	26	19
青少年保護育成条例違反	20	221	435	448	
重要犯罪 (殺人・強盗・強姦等)	殺人	1	6	6	4
	強盗	2	10	24	37
	強姦	8	44	53	72
	略取誘拐	1	3	3	6
	強制わいせつ	3	10	14	18
		15	73	100	137
粗暴犯 (暴行・傷害・脅迫・恐喝)	暴行	1	3	3	4
	傷害	0	13	18	12
	脅迫	2	16	24	12
	恐喝	4	34	83	80
		7	66	128	108
窃盗	0	23	39	39	
詐欺	1	26	25	32	
その他	20	92	191	172	
計	104	888	1,731	1,746	

2003年の検挙数は1,746件で前年とほぼ同数であるが、「重要犯罪」は137件あり、前年より約37%増加している。殺人は減ったものの、その他の「強盗」「強姦」「略取誘拐」「強制わいせつ」の全項目が増加し、とくに強盗と強姦で顕著である。児童買春は791件(約46%)で、前年より4件増加。被害者の85%が18歳未満の児童であり、また92%が女性である。

出所 警察庁「平成15年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件の検挙状況について」2004年2月

出会い系サイトへのアクセス手段は携帯電話が95%

資料7-3-13 出会い系サイト関連事件のパソコンと携帯電話の内訳



出所 警察庁「平成15年中のいわゆる出会い系サイトに関係した事件の検挙状況について」2004年2月

事件の発端となる出会い系サイトにアクセスする手段は携帯電話が1,662件(95%)と圧倒的多数を占める。2000年は59件(57%)であったが、2001年714件(80%)、2002年1,672件(97%)と携帯電話の普及を反映して急増した。被害者の85%は18歳未満の児童であることから、携帯電話の与え方に問題を投げかけるデータである。



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、データ、URL、名称など)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真・図の作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレスR&D)などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D(初期は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp